

対象者のために自己研鑽できる臨床家へ

**ディプロマポリシー (DP)**

【情意面】臨床場面において求められる個人の資質とチームワークの基盤をなす協調性を持つ

【知識面】国家試験出題基準に則った理解力・解釈力および原理知識と技術面の統合力を持つ

【技術面】代表的な疾患について、ある程度の助言のもと基本的なプログラムを安全に遂行できる

**カリキュラムポリシー(CP)**

1. 教育課程において基礎分野科目や実習を取り入れコミュニケーション能力及び医療人としての資質を育成する。また、授業及び科目外活動においてグループワークを活用し、愛他的精神をもち協調性を養う。
2. 医療人としての土台であるヒトの身体のつくり、仕組み、動きなど必要な基礎知識を習得し、疾患との関わりを探求できるよう主体的な学習態度を養う。
3. 専門分野では、生活機能に即した評価および治療学を学び、演習・実習を通じ科学的な思考を育成し、代表的な疾患の基本的プログラムを理解する。
4. 知識・技術の統合として臨床実習を位置づけ、医療人としての基本的態度の実践及び治療計画立案を経験する。その後、代表的な疾患の知識・技術の統合を深める科目を設定し国家試験合格に向けた個別指導による達成度のフィードバックを行う。

1年次 ○基礎分野 ○専門基礎分野

社会人としての基本的マナーを身につける。

仲間と協力し同じ目的に向かい努力する態度を身につける。

ヒトの身体の作り、仕組み、動きを学び、医学人としての土台を作る。

⇒日常的な教員の関わりにおいて得られる情意面

例) 挨拶、身だしなみ、態度、報告・連絡・相談、提出期限の遵守・・・

⇒授業の中で身につけられる情意面

例) グループワークを通じて仲間との協調性を養うとともに、学習への計画性を身につける

⇒実習において得られる情意面

2年次 ○専門基礎分野 ○専門分野 (昼間コース 1~2年次は、夜間コース 1~3年次に該当)

医療人としてのコミュニケーション能力を身につける。

代表的な疾患についての基本知識、基本的プログラムを理解する。

基本的評価技術を身につける。 ⇒ 日常的な教員の関わり ⇒ 授業 ⇒ 実習

3年次 ○専門分野 ○国家試験

臨床実習において医療人としての基本的態度を実践する。

国家試験合格にむけこれまで履修した知識と技術の統合を図る。

**アドミッションポリシー(AP)**

1. 人との関わりが好きな人
2. ルール、マナー、モラルを重んじる人
3. リハビリテーション分野で働く意欲の高い人